

U.S. Indicators

発表日: 2025 年 10 月 27 日(月)

米国 10 月 PMI は高い水準、民間部門の堅調持続を示す

～製造業は 3 ヶ月連続拡大、サービス業は 33 ヶ月連続拡大～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

25 年 10 月の S & P グローバル米国総合購買担当者指数 (PMI) は、54.8 (前月 53.9) と市場予想中央値 (Bloomberg 集計) の 53.5 (筆者予想 53.8) への低下に反して、前月比 0.9%ポイント上昇し、拡大縮小の分岐点である 50 を 33 ヶ月連続で上回った。10 月総合 PMI (速報) は、高い水準に上昇し、8 月のトランプ相互関税引き上げ、10 月の政府機関の一部閉鎖後も、同統計調査対象企業の活動や民間需要が堅調さを維持していることを示した。

製造業は、52.2 (前月 52.0) と前月比 0.2%ポイント上昇し、拡大を示す水準を 3 ヶ月連続で上回った。また、サービス業は、堅調な国内需要を背景に 55.2 (前月 54.2) と 33 ヶ月連続で 50 を上回ったうえ、前月比 1.0%ポイント上昇し、高い水準を維持した。

主要項目では、総合新規受注は、54.2 (前月 53.1) と高い水準に上昇しており、需要の堅調持続を示した。製造業が 53.5 (同 51.2)、サービス業が 54.3 (同 53.5) と、ともに上昇した。また、総合雇用は、51.4 (同 50.6) と小幅上昇し、雇用の拡大ペース加速を示した (雇用統計では雇用の拡大ペース加速)。製造業が 50.6 (同 51.7) と低下した一方、サービス業が 51.6 (同 50.4) と上昇した。

インフレ関連では、総合投入価格指数が 60.8 (前月 60.6) と上昇した一方、総合産出価格指数が 55.2 (同 56.5) と高い水準だが低下した。企業のマージン悪化を示唆しており、企業はコスト増加を段階的に価格に転嫁していると考えられる。製造業では、投入価格指数が 63.6 (同 63.9) と小幅低下したが、産出価格指数が 58.6 (同 56.5) と上昇し、財価格の上昇圧力の強まりと製造業のマージン改善が示された。サービス業では、投入価格指数が 60.3 (同 60.0) と上昇した一方、産出価格指数が 54.6 (同 56.5) と低下するなど、サービス業のマージン悪化によるインフレ圧力の若干の緩和が示された。

製造業では、主要構成項目が 50 を維持するもと、雇用が 50.6 (前月 51.7)、在庫が 50.3 (同 50.4) と低下し、新規受注が 53.5 (同 51.2)、生産が 52.8 (同 52.4) と上昇した。寄与度では、入荷遅延が前月比▲0.28%ポイント、雇用が同▲0.22%ポイント、在庫が同▲0.01%ポイントの押し下げ寄与となった一方、新規受注が同+0.67%ポイント、生産が同+0.08%ポイントの押し上げ寄与となった。

サービス業では、活動指数が 55.2 (前月 54.2) と上昇し、高い水準を維持、事業活動の好調を示した。また、新規受注は、54.3 (同 53.5) と上昇し、需要の堅調持続が示された。さらに、「将来の活動指数」は、63.3 (同 65.6) と低下したが、高い水準を維持しており、サービス関連企業は先行きに対して楽観的な見方を続けている。

基調をみても、10 月の総合 PMI は、54.8 と 7-9 月期の 54.5 から上昇し、米民間需要の拡大ペー



スの加速が示された。製造業が 52.2（7-9 月期 51.6）、サービス業が 55.2（同 54.8）とともに上昇し、拡大ペースの加速を示した。

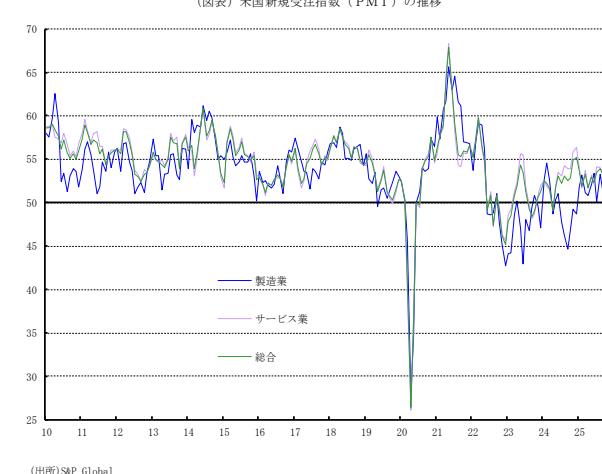
(図表) 米国購買担当者指数 (PMI) の推移



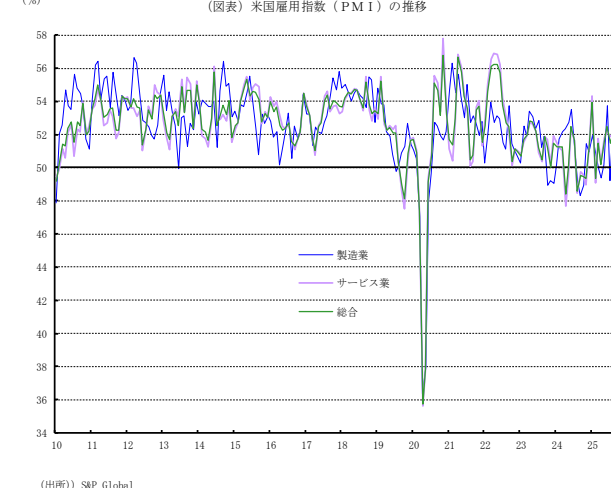
(図表) 米国生産・活動指数の推移



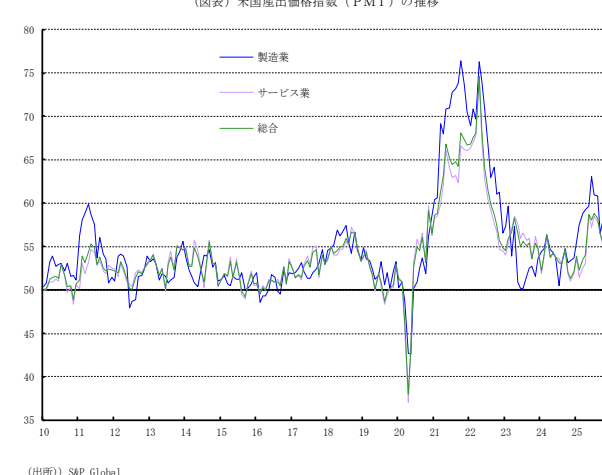
(図表) 米国新規受注指数 (PMI) の推移



(図表) 米国雇用指数 (PMI) の推移



(図表) 米国産出価格指数 (PMI) の推移



(図表) 米国投入価格指数 (PMI) の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。